

『すべての人は愛を広めるために呼ばれている』（大人の教会学校 2019年3月）

「神の愛の宣教者は愛の宣教者でなければなりません。宣教者とは送られた者です。神は御子を送られ、今日、神はわたしたちを送られます。わたしたち一人ひとは神によって送られていますが、なんのために送られているのでしょうか。人びとの間で神の愛となるために送られています。貧しい人びとの中で最も貧しい人に、神の愛とコンパッションを届けるために送られます。愛することを恐れてはなりません。わたしたち一人ひとは愛の宣教者でなければなりません。『なければならない』という言葉に心を留めてください。そのように努力するだけでなく、愛の宣教者でなければならないのです。

どのように成功し、どうして失敗したかを調べ、その結果をどこかに書き留めておいてください。イエスとマリアに祈り、あなたを愛で満たしてくださるようお願いなさい。わたしたちはイエスの愛になるために送られています。自分が持っていないものを、人に与えることはできません。ですから祈りと神との一致をとおして、わたしたちの魂は愛に満たされていなければなりません。そうして、すべての民に福音を宣べ伝えなければなりません。『行ってすべての民に宣教しなさい。』（マタイ 28・19 参照）

小さなほほえみでも、あるいは視覚障がい者が道路を横断するのを助けてあげることで、小さなことに大きな愛をもってすることが愛の働きです。一人の物乞いがわたしのところへやって来て『マザーテレサ、みんながあなたに何か差し上げているので、わたしもあなたに何か差し上げたい。今日は十ペニーだけもらいました。それで一日中これをあなたにあげたいと思っていました』と言うのです。それで、もしわたしがそのペニーを彼から受け取ったら、彼は今晚何も食わずに床につくかもしれませんし、もし受け取らなかったら、彼の感情を害するかもしれません。それでそのペニーをもらいました。そして、この人の顔に現れた、お金とか食べ物をだれかに与えた人の喜びの表情は、今まで見たことのないほどの輝きでした。こんなに貧しい人でも、だれかに何かを与えることができたのです。これこそ愛することの喜びであり、わたしはあなたがたがこの愛する喜びを体験し、愛することの喜びをまずは家族の中で、次にあなたがたが会うすべての人に分かち合うように祈ります。

全能の神に何かをささげるとき、大切なのはその量ではなく、どれだけの愛をそのささげものに込めたかです。そのことを実行してください。年齢とったご両親にお花をもっていくことかもしれないし、ベッドをもう少し上手に整えてあげるかもしれません。病院には訪問客が一人もいない人、だれも会いに行かない人がたくさんいます。もしかしたらあなたが訪ねてあげることができるかもしれませんね。たった一枚のはがきを書いてあげること、視覚障がい者に新聞を読んであげることなど、小さなことを。大きなことを

探さないでください。大きな愛をもって、小さなことを！」

(「愛のあるところ、神はそこにおられる」 マザーテレサ 女子パウロ会)